

4 議 第 1 0 0 4 号

令和4年10月11日

美麻地域のエネルギーを考える会

会長 渡 辺 寛 様

大町市議会議長 二 條 孝 夫

議会との意見交換会で出された要望等の回答について（報告）

秋冷の候、貴会におかれましてはますます御健勝のこととお慶び申し上げます。

日頃より、当市議会へのご支援ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、過日行われた意見交換会においていただいた要望につきまして、別紙のとおり回答いたします。

末筆ながら、貴会の益々のご活躍をご祈念申し上げ、簡単ではございますがご報告とさせていただきます。

出された意見・要望	市議会の意見	行政の見解・対応
<p>1. 2050年までに二酸化炭素排出量ネットゼロへの具体的計画を官民協働で立て、市民が参加しやすい方法で具体化すること。そのために市議会は主導的役割を果たすこと。</p>	<p>行政へ送付</p> <ul style="list-style-type: none"> 市議会も、本年3月に策定した大町市ゼロカーボンシティ宣言等を踏まえ、その理念達成のための具体的な取組みについて、行政とともに研究していく。 	<p>令和4年2月に大町市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）を策定し、中期目標（2030年）、長期目標（2050年）を達成するため、市民、事業者、行政のそれぞれの取組みを掲げています。</p> <p>本年度は、広報おおまちに市民の皆様が日常で取り組める省エネのポイントなどを毎月紹介して、ゼロカーボンシティ達成に向けた市民の取組みを推進しています。</p> <p>今後は、市の事務事業に係る大町市地球温暖化防止実行計画（事務事業編）の見直しを行い、市民の皆様にも分かりやすい計画策定に努めることとします。</p>
<p>2. 森林資源に恵まれた大町市では木質バイオマスエネルギーの活用が重要と思われる。森林活用を全市挙げて取り組む官民協同の体制をつくり、検討を開始すること。</p>	<p>行政へ送付</p> <ul style="list-style-type: none"> 大町市は森林資源に恵まれており、木質バイオマスエネルギーの活用は市の大きな課題である。本年3月には大町市ゼロカーボンシティ宣言をしており、SDGsの目的にも合致している。官民協同の体制による更なる活用へ向け検討されたい。 	<p>木質バイオマスエネルギーの活用は大きな課題と考えており、地域森林資源活用の推進を図るため、薪ストーブ等の購入費補助事業増額など、消費拡大に繋がる事業を実施しています。</p> <p>また、令和4年度から北アルプス森林林業活性化推進協議会を設立し、大北5市町村での森林資源活用に向け検討を進めています。今後は、関係者との情報交換等を実施し、官民協同での更なる活用について検討を進めてまいります。</p>
<p>3. 二重市民農園の管理棟のボイラーが更新時期を迎えており、バイオマスボイラーの導入の可能性について検討を始めること。また森林教育の拠点など、新たな活用策を検討すること。</p>	<p>行政へ送付</p> <ul style="list-style-type: none"> ふたえ市民農園の管理棟ボイラーの施設更新において、バイオマスボイラー導入は、木質バイオマスエネルギーの活用において有効であると考え。初期投資、維持費、燃料の安定供給など、多岐にわたる観点に立って検討されたい。 	<p>管理棟ボイラーは、設置から20年以上経過し、更新時期を迎えておりますので、業者から見積書等を徴して、バイオマスボイラー導入の可能性を含めて検討します。</p>